

学校の活動の様子を詳しくホームページに掲載しています。<http://www.school.umic.jp/nishiuchi/>（「西内小学校」で検索）ぜひご覧ください。スマートフォンやタブレット、パソコンどちらからでもご覧いただけます。

学校だより No. 6

上田市立西内小学校



われら西内小学校



令和2年10月26日

子どもたち輝いていました！ 第125回校庭運動会



コロナ禍により、秋に延期となった第125回校庭運動会が10月3日に開催されました。天候に恵まれ、涼しく、運動しやすい陽気の中運動会が行われました。

運動会は入場行進から始まりました。子どもたちは様々な競技に一生懸命に取り組み、全校表現では、気合の入った西内ソーランを披露してくれました。鹿教湯八景では、児童、教職員、保護者の皆様、地域の皆様が輪になって最上級生の6年生の太鼓の節で踊り、運動会の最後を飾りました。保護者の皆様、地域の皆様には運動会をいっしょに盛り上げていただきました。

準備、片付けも保護者の皆様、地域の皆様に厚いご助力をいただきました。学校のために親身に動いてくださる皆様に温かい気持ちを感じ、たいへん感謝しております。

今年の運動会のスローガンは、「今日に感謝！ 最後まで全力で みんなかがやく運動会」でした。コロナ禍の中ですが、これしかできなかった運動会、というのではなく、工夫してできた、新しい形でできた運動会というものを児童、保護者の皆様、地域の皆様とつくり上げたいと取り組んできました。今日の運動会は、子どもたちが全力で取り組み、子どもたちが輝く運動会になりました。これも、子どもを中心に、家庭、地域、学校がともに力を出した成果であるように感じています。

皆様ありがとうございました。子どもたちががんばりました！

運動会への道 運動会特別時間割

運動会への道①（9月23日） 運動会特別時間割開始

朝の校庭では、職員による練習準備が行われていました。ライン引きや放送器具の用意などの準備です。

10月2日の運動会に向けて、9月23日から運動会特別時間割が始まりました。運動会前日まで、8日間の特別時間割です。今日から1時間目全校リレー、3時間目全校表現、6時間目6年生の太鼓と運動会練習の時間が通常より多く入っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとっての運動会となります。そんな中でも、子どもたちが達成感や満足感を得られる運動会を目指して練習に取り組んでいきたいと考えています。

運動会への道②（9月24日） 鹿教湯八景



「鹿教湯八景」は地域に根づく伝統芸能です。歌があり、踊りがあります。西内小学校では運動会の締めくくりに、鹿教湯八景を6年生の太鼓で踊っています。児童、教職員、保護者の皆様、地域の皆様、皆で輪をつくって踊ります。

四方を山々に囲まれた豊かな自然そのままの景色、そんな様が謳われている「鹿教湯八景」、今日は1年生から5年生が体育館で踊りの練習をしました。

5年生は踊り5年目です。下級生の見本になって踊ってくれました。初めての1年生も、5年生の踊りを見ながら踊り方を覚えていきました。

5年生は踊り5年目と前述しましたが、転入してきて初めての子もいました。その友達も授業後半では自信をつけて、前に出て見本で踊ってくれました。さすがこの日の授業の最上級生です。

次は校庭で踊り、本番の形に近づけていきます。運動会では、楽しく鹿教湯八景を踊れるといいですね。

運動会への道③（9月25日） 開会式・閉会式の練習



運動会への道は続きます。今日はあいにくの雨天のため、予定を変更して体育館で実施できる内容について練習をしました。

3時間目は全校で開会式や閉会式の練習をしました。実際は校庭で行う開会式、閉会式ですが、体育館を校庭に見立てて練習しました。校庭でできなくてもイメージがつかめます。

あいさつをする6年生の動き、その際の全校児童の動きなど、次第に沿いながら練習しました。

開会式には応援合戦があります。例年ですと「フレー、フレー」と大きな声を出して応援をしますが、コロナ禍対応の応援合戦ということで、応援団のみなさんが工夫して「勝利のウェーブ」を考えてくれました。赤白それぞれ応援旗の動きに合わせて、一人一人ジャンプをして勝利への思いを表します。

開会式、閉会式の動きが確かめられました。運動会次第の初めと終わりの準備ができたので、中身の競技練習に集中していきますね。

運動会への道④（9月28日） 入場行進・鹿教湯八景

今日の3時間目は入場行進と鹿教湯八景の練習をしました。霧雨が降っていましたが練習直前に上がり、校庭で練習することができました。

今年度の入場行進は、学年ごとではなく全体で入場します。学年の枠を取り払い、応援団長を先頭に紅組、白組、それぞれの入場です。今日は動き方を確かめました。



鹿教湯八景は初めて校庭で、初めて太鼓の6年生と踊りの1～5年生がいっしょに練習をしました。6年生の太鼓の姿は輝いて見えるようで、「6年生になったら、真ん中の一番大きい太鼓をたたいてみたいな。」とつぶやく3年生がいました。校庭で本番通りに入退場し、踊りの輪をつくって練習しました。本番は子どもたちの輪に加えて、保護者の皆様と地域の皆様に輪をつくっていただきます。さらに華やかな鹿教湯八景になるでしょう。

運動会への道は続きます。

運動会への道⑤（9月29日） 綱引き・全校リレー

今日の1時間目の全校練習は、綱引きと全校リレーでした。

綱引きは赤白分かれて作戦タイムから始めました。作戦を練った後は、入退場等の動きを確かめながら実際に綱を引いてみました。白熱の勝負は白の2連勝でしたが、当日の勝敗はわかりません。赤のみなさんもがんばってください。

全校リレーも動き方を確かめながら、実際にリレーをしました。全校リレーはバトンパスがスムーズにいくかどうかで順位に大きな変動があります。一生懸命走る、声援を送りながら競技する子どもたちの姿がありました。



運動会は今週末です。運動会への道は続きます。

運動会への道⑥（9月30日） 準備体操、短距離走・かけっこ

今日の3時間目は準備体操と短距離走・かけっこの練習をしました。準備体操と短距離走・かけっこは連続の競技で、競技間の移動を含めて練習しました。



準備体操は指揮台の代表の6年生の動きに合わせて、ラジオ体操をしました。しっかり体を動かしてよい準備としたいです。

短距離走・かけっこは連学年ごとに走る距離が異なります。1・2年生は直線コース、3～6年生はトラックコースを走り、5・6年生は距離が長いです。

西内小学校の短距離走・かけっこは自己紹介と目標の発表つきです。走る前に学年と名前、目標を一人一人発表します。個に焦点をあてた西内小らしい短距離走・かけっこです。今日は本番通りに走ってみました。懸命に走り、応援し合う子どもたちの姿がありました。

運動会では一生懸命な子どもたちの走りが見られると思います。運動会への道は続きます。

運動会への道⑦（10月1日） 全校表現「西内ソーラン」



全校表現「西内ソーラン」の最終練習がありました。午前中は小雨模様でしたが、練習が始まる5時間目には陽が照ってきて、絶好のコンディションになりました。

初めに気をつけるポイントを確認して、通し練習をしました。2回通して練習しましたが、2回目は最後の通し練習で、子どもたちにとっては今まで練習してきた最後の踊りだったので感慨深かったのではないのでしょうか。

ソーラン節は、北海道の日本海沿岸のニシン漁の際に唄われた沖揚げ音頭がもとになっています。「ソーラン ソーラン」の囃し言葉にちなんで「ソーラン節」と呼ばれるようになりました。運動会では荒々しい日本海のニシン漁を表現できるように、勇壮な踊りが見られるといいです。

運動会への道⑧（10月2日） 運動会前日準備



午後に明日の運動会に備えて準備作業をしました。3～6年生が校庭の指揮台前に集合し、注意や仕事の分担を聞いてから準備に取りかかりました。

応援団の練習、トイレ掃除、放送機器の準備、校庭整備などそれぞれ分担して運動会の準備を進めました。準備をしながら、運動会を迎える心構えも高まっていくものと思われます。しっかり働くことができました。

予定の時刻に作業が終わり、15:00に下校となりました。いつもより早い下校ですので、今日はゆっくり休んで明日の運動会に備えてほしいです。

運動会はいよいよ明日です。（巻頭記事につながります。）

「うわさ」について考える 10月校長講話

西内の時間の10月校長講話では、「うわさ」について考えました。

校長先生に「あしなが」という絵本を読み聞かせてもらいました。

犬の世界の話です。「あしなが」に悪いうわさが立ちます。「いやなやつ」「ひどいやつ」「わるいやつ」といったうわさです。しかし、実際にあしながと話した犬が仲間に言います。「それ、だれか見たのかい？」それをきっかけに、あしながは仲間に本当の姿を理解されるようになりました。

新型コロナの流行により、いろいろなうわさが流れることのある昨今です。「本当かな」と立ち止まって考える姿勢を常にもっておくようにしたい、そんなことを学んだ校長講話でした。



ボランティアのみなさんよろしくお願いします 朝の読み聞かせ打ち合わせ会



学校へ行こう週間で、ボランティアのみなさんには「お話の部屋」で、子どもたちに読み聞かせをしていただきました。子どもたちはボランティアのみなさんの読み聞かせを楽しみ、ボランティアのみなさんにも、「子どもたちとお話をいっしょに楽しめた」「よく聞いてくれてうれしかった」「また読み聞かせをしてみたい」といった声をいただきました。

西内小学校は、月曜朝の西内の時間が「読書」です。子どもたちとボランティアさんのお話の部屋での楽しい体験を読書の時間につなぎたいと考えました。読書の時間にボランティアさんに来校いただいて、読み聞かせをしていただいています。

9月30日はボランティアさんと学校職員とで、朝の読み聞かせの打ち合わせ会を開きました。図書館で開いた打ち合わせ会には、5名のボランティアさんにお集まりいただき、今後の活動についてご協議いただきました。

読み聞かせの準備を進めていただきました。

ボランティアのみなさんと楽しく働きました 全校稲刈り

10月6日は全校で稲刈りをしました。待ちに待った収穫です。ボランティアの保護者のみなさんに多数集まってもらい、全校+ボランティアのみなさんの交流の稲刈りになりました。

初めにボランティア代表の方に、稲刈りのやり方を説明してもらいました。稲の根元を順手で持って刈る、10～12束集まったらまとめて縛る等の説明をもらって、なかよしペアごとに作業にとりかかりました。

稲刈りが初めてという子もいました。特に1年生は初めての子が多かったですが、高学年の友達やボランティアさんにアドバイスをもらいながらどんどん刈っていました。他学年の子どもたちも、ペア同士、またボランティアさんといっしょに手際よく刈りました。予定した時間よりだいぶ早く作業が終わり、みんなでしっかり片付けをすることができました。

最後に児童、職員、ボランティアさんの参加者全員で記念写真を撮って終わりにしました。よく働き、交流の意義もあるよい稲刈りとなりました。

今年度は、コロナ禍の中での米づくりでしたが、子どもたちの力、ボランティアさんの力で、充実した米づくりをすることができました。さらに、今年度は米づくりに、全校児童とボランティアさんの交流という新たな意義までもたせていただきました。今後輪を地域にまで広げていけたら、さらに意義深い米づくりになるでしょう。ボランティアの皆さんにはそんな道筋をつけていただきました。



楽しい、意義ある稲刈りとなりました。ボランティアの皆様ありがとうございました。

バイオリンとピアノの音色で午後のひとときを過ごしました クラスコンサート

バイオリニストの南紫音さんとピアニストの三原未紗子さんによるクラスコンサートが10月6日に開かれました。サントミュージゼ企画のコンサートです。

午後のひととき、全校児童でクラシックの音楽を楽しみました。体育館でのコンサートでした。



バイオリンとピアノのデュオでいろいろな曲を演奏してもらい、楽器の紹介もしてもらいました。楽器や演奏について質問も受け付けてもらって、演奏者を身近に感じられました。バイオリンの音を生で聴くのは初めてという子も多く、よい鑑賞体験となりました。

コンサート後にはお礼として金管バンドの演奏を披露しました。お二人にとっても喜んでもらいました。

一流の演奏を生で聴いたよいコンサートになりました。

異年齢の交流を深めます なかよし班活動

この日の朝の西内の時間は「なかよし班活動」でした。なかよし班は1～6年生が混じった異年齢グループです。高学年はリーダーシップを、低学年はフォロワーシップを学んでいきます。



3つのグループに分かれて交流活動をしました。それぞれ、バドミントン、トランプ遊び、人狼で遊びながら交流を深めました。

一グループ10人あまりの人数です。バドミントンでは一人一本ラケットを持って活動できました。トランプは円く集まって七並べをしていました。人狼は高学年の児童が低学年の児童によくやり方を説明していました。

なかよし班の活動は、休み時間の異年齢の遊びにもつながっている様子があります。異年齢でかかわり合って遊び、活

動している西内小学校です。

休日練習がんばっています 金管バンド



10月10日は雨降りでしたが、そんな中でも金管バンドの子どもたちは学校の体育館に集まり、練習にいそんでいました。土曜日の休日練習です。

顧問の先生と集中して演奏をつくり上げていました。迫力のある音が体育館に響いていました。

金管バンドはコロナ禍により、発表する場が少ない中で活動してきましたが、11月にはいくつか演奏を披露する機会が計画されています。楽しみです。

休日の練習もがんばっている金管バンドです。

ボランティアのみなさんありがとうございます 朝の読み聞かせ

読み聞かせボランティアのみなさんによる月曜朝の読み聞かせが10月12日からスタートしました。学校へ行こう週間の「お話の部屋」を学校の日常につないでいただいているの実施です。7名のボランティアさんに来校いただき、全学級で読み聞かせをしていただきました。

「らくご長屋 桃太郎」では、ペアで登場人物の役割を分担して読んでもらいました。また、「ともだち」「ワニくんのながいかお」では、お二人にそれぞれお勧めの本を読んでもらいました。4つの教室で読み聞かせが行われ、ボランティアさんの読み聞かせに熱心に耳を傾ける子どもたちの姿がありました。

終了後には図書館にボランティアのみなさんが集まり、情報交換がありました。読み聞かせの仕方やお勧めの本などが話題になっていて、次週以降の計画がされました。

朝の読み聞かせは、学校へ行こう週間「お話の部屋」におけるボランティアのみなさん、子どもたち両者の「楽しかった」との思いが発足のきっかけとなっています。子どもも大人も楽しい朝の読み聞かせになっていくように思います。ボランティアのみなさん、ありがとうございます。



ゴムのエネルギーを調べる ゴムの力で動く車

世界的なベストセラー「サピエンス全史」では、人類の歴史にかかわって「エネルギーの変換」について言及がされています。

* * * * *

産業革命以前、人類の使うエネルギーはすべて、つまるところ植物、ひいては太陽に依存していました。何をするにも、人間と動物の筋肉を使って仕事をしており、「エネルギーを変換する」ということが知られていませんでした。たとえば、石油の存在は数千年前から知られていましたが、ずっとただの潤滑剤としてしか利用されていませんでした。

これが産業革命で変わります。人間は、蒸気機関を炭鉱から外の世界に引っ張り出すことによって、熱を動力に変え、石油とエンジンで交通手段を発達させ、電気によって生活をコントロールできるようになりました。エネルギーの変換は大変な進歩です。

* * * * *

勝手な要約ですが、エネルギーの変換ということであれば、昨日の3年生の理科の学習は、まさにゴムのエネルギーについて実験しました。



ゴムの力で動く車の輪ゴムの数を1本から5本まで変えたとき、車の動く距離はどう変わるか実験していました。実際に車を動かし、輪ゴムの本数ごとに動いた距離を記録をしていきました。輪ゴム4本の方が5本のときより長く走ったケースなどがありましたが、「力が強すぎてスピンした」と考察し、どの子もゴムの本数が多いほど、車に加わる力は強くなると考えていました。

3年生の理科では風やゴムのエネルギーについて学習しています。実験を通して、身をもってエネルギー変換を感じている3年生です。

地域の応援がうれしいです 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間で、チームヤギは「サナ放牧プロジェクト」を進めています。

10月15日の総合的な学習の時間では、柵をつくるための材料となる、木材や竹の情報を確認しました。「今週の土日にお父さんと家の山で木を切ってきます。」「パパが家の竹を持ってきてくれるって。10本くらい。」「友達のお父さんが木を寄付してくれる。」など情報交換をして、何とか木材や竹が集められそうなことがわかりました。

「次はどこにつくるか考えなくちゃ。」のつぶやきから問題ができました。「サナ放牧プロジェクトの柵をどこにつくるか考えよう」です。場所の条件について考えましたが、①校庭の草のある場所②通学の邪魔にならない場所③サッカーと重ならない場所、となりました。

実際に外へ出て、サナの傍らで場所の見当をつけながら考えました。出てきた案は二つ、A案・・・百葉箱周辺、B案・・・ヤギ小屋を囲む、です。二つの案のどちらにするか、「サナが自由に歩けるようにしたい」との願いに立ち返りながら考え、A案に取り組んでみて、余裕があったらB案にもチャレンジしてみようということになりました。

そんな話をしているところに、友達のお父さんが軽トラックに木材をつけて、見せにやって来てくれました。2種類の木材からどちらが柵に適しているか選んでほしいというのです。この記事の第2段落「友達のお父さんが木を寄付してくれる。」の友達のお父さんです。子どもたちは大喜び、大感謝で柵をつくる木材を選ばせてもらいました。

最後に放し飼いの牧場の名前を何にするか考えましたが、いろいろな候補が出て、サナに選んでもらうことになりました。等距離からそれぞれサナを呼んで、サナが寄ってきた子の案に決めました。「サナ悠々自適の間」です。次回の総合から「サナ悠々自適の間」の製作に取りかかれそうです。地域の方の応援を受けながら、サナ放牧プロジェクトは進行します。

安全意識を高める 休み時間の避難訓練

10月16日の2時間目の休み時間に避難訓練を行いました。今回は休み時間に火事が起きたら・・・との想定での訓練でした。

「訓練、訓練。理科室から火災発生、燃え広がるおそれがあります。近くの緊急集合場所へ集まり、先生の指示に従い校庭に避難しなさい。」の緊急放送で訓練を開始しました。

休み時間に過ごす場所は日によって違いますから、今いる場所からどう避難するか、臨機に考え避難する必要があります。また、児童に予告なしで訓練を行ったので、いざというときに備える気持ちを高められたように思います。

全員の避難が完了してから、校庭で校長先生のお話を聞きながら振り返りをしました。折に触れて訓練をし、児童も教職員も安全意識を高めるようにしています。



交流の輪が広がります 西内焼き物クラブ

金曜日の夜は図工室で西内焼き物クラブが開かれることがあります。コロナ禍の今年度は回数が絞られていますが、月1、2回程度開かれます。学校には登り窯があり、冬には三昼夜かけて窯焚きをして制作した作品を焼いています。

クラブには老若男女、年齢層も様々な焼き物愛好家の皆さんが集います。本校の児童も2名が加入していて、大人や中学生の皆さんといっしょに活動しています。



今日も皆さんで会話をしながら、粘土をこねたり器を作ったりしていました。ベシア財団から登り窯に助成をしてもらえてうれしい話やアメリカ大統領選はどちらが勝つかの話、若く見える芸能人の話や学校の出来事など話題は多岐にわたります。多様な皆さんが集まっているので話題も多様になるのかもしれない。

本校児童も含め、焼き物で地域や同好のみなさんの交流が広がっています。

持続可能な社会づくりに向けた教育のあり方 SDGs,ESD など

西内小学校学校運営委員会ではめざすところを「地域とともにある西内小学校」とし、その実現に向けて活動しています。先日、地域と学校の連携推進研修が県生涯学習推進センターにおいて開催されました。本校の教育事業に係ることが多い内容ですので紹介します。

信州大学教育学部準教授、安達仁美さんの講演がありました。「SDGs＝持続可能な開発目標」は、国連サミット採択の17の目標のことで、17からなるカラフルなアイコンをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。長野県は「SDGs未来都市」に選定されていて、SDGs達成の取り組みを推進しています。

聴講者に17の目標のうちどの目標を大切に考えるか、アンケートがとられました。参加者の立場にもよるかと思うのですが、「4質の高い教育をみんなに」「11住み続けられるまちづくりを」を大切に考える方が多かったです。皆さんならどの目標を大切に考えるでしょう。本校学校運営委員会は地域住民と児童が共に学び、関わり合いたいとの活動の願いをもっています。この願いはSDGsの理念にも沿うものと思われます。

SDGs実現のための教育が「ESD＝持続可能な開発のための教育」となり、学習指導要領にも位置づけられています。本校でも力を入れている総合的な学習の時間は、特にその役割を果たすことが期待されています。

実践発表では、高山村立高山小学校、塩尻市宗賀公民館の活動報告をお聴きしました。どちらも学校、家庭、地域の連携・協働の事業が推進されていて、たいへん参考になるものでした。宗賀地区のボランティアさんの、「子ども時代を思い出して、子どもといっしょに楽しめばいいんだと思えたときに、気楽になった、楽しくなった。」との言葉が印象的でした。また、宗賀公民館では「どんぐりプロジェクト」として学有林の整備を通じた世代間交流、地域交流に取り組んでいます。林業にかかわる技術の伝承を通じて交流がされていて、本校の登り窯活動にも通じるようなところがあるように感じました。

まとめとしてのワークショップでは、信大の安達さんから、持続可能な社会をつくっていくためには何が最も大切かとの質問が参加者に投げかけられました。安達さんからは、「やりたい、やってみよう」（やらなくてはならないではなく）との思いが大切ではないかとのお話がありました。主体的、能動的な思いは参画の当事者意識や行動した楽しさにつながり、ひいては人とつながることに至るのではないかとのことでした。主体的、能動的な学習とは今日教育でも大事にされていることですし、持続可能な社会づくりでも、主体性、能動性との言葉はキーワードになりそうです。

上記の内容は、持続可能な社会づくりに向けた教育の実現、地域と学校の連携・協働につなぎ、みなさんとともに「地域とともにある西内小学校」をつくっていきたいと考えています。



花に親しむ体験 生け花教室

10月22日に上田農業農村支援センター、華道教育会上田支部のみなさんを講師に招いて、生け花教室が開かれました。昨年度は今の4・5年生が体験した教室、今回は2・3年生です。

会場の食堂には一人ひとり生け花に取り組む子どもたち、助言したり、やり方を教えてくれたりする講師の先生方の姿がありました。草花はスポンジに生け、子どもたちが取り組みやすい工夫がしてありました。どのように生けたら花がよりいきるか、考えながら活動する子どもたちの様子がありました。

子どもたちに感想を聞いてみました。「（スポンジの）どこに差すのか考えるのが難しかったけれど、差すのが楽しかった。」「家でおばあちゃんが剣山のところに生け花をやるのは見たことがあった。今日は自分で生け花をやれてよかった。」「花をいかそうと思っていった。きれいに飾れてうれしかった。」といった声が聞かれました。

「子どもたちののびのびとした発想がすばらしい。」「好きな花をまん中に生けて、表現できてよかったですね。」「元来丸子は花の産地として有名です。今日は花に親しむ教室になってよかったですね。」といった言葉が講師の先生方から子どもたちに向けられました。

花に親しむよい教室、体験になりました。子どもたちの生け花作品は食堂前の廊下に飾ってあります。



11月 の予定

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 なかよし旬間 (～13日)	3 文化の日	4 校長講話	5	6 収穫祭 授業参 観日・講演会	7	8 金管合同 発表会
9 PTA 薪割り作 業③	10	11 丸子中区人権同 和教育研修会	12 メディアコントロール週間(～ 18日) わくわく芸術体験	13 ブックバス クラブ活動	14 PTA 薪割 り作業④	15
16	17 あいさつデー	18 ICT 支援員来 校	19	20 音楽会特別時間割(～27 日) 最終クラブ	21	22
23 勤労感謝の日	24	25	26	27	28 西内小 音楽祭	29
30 振替休日						

【登校日数19日(累計122日)】

- ・28日(土)は西内小音楽祭です。新型コロナウイルス感染症対策をとりながらの音楽祭となりますが、児童を中心に据え、児童が活躍する、輝く音楽祭をめざします。
- ・なかよし旬間は友達とのかかわりを振り返ったり、身近な問題について考えたりしながら、人権意識を高める期間にしていきます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、予定が変更になることがあります。その際は学年だよりや安心メールでお知らせします。

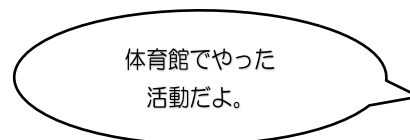
学校では不祥事根絶に向け、服務規律の遵守に努めていくように、非違行為防止研修を実施しています。

「われら西内小学校」クイズ

下の写真は何をしているところでしょうか？



このおたよりをよく
読んで答えてね。



体育館でやった
活動だよ。

- ① 自動車レース大会 ② ゴムの力の実験・観察 ③ 体育館の床掃除

フォームの力で動く車の輪ゴムの数を1本から5本まで変えたとき、車の動く距離はどうか実験しました。理科の学習です。(答え②)